

東京海上・グローバルペット関連株式ファンド

(為替ヘッジなし／為替ヘッジあり)

追加型投信／内外／株式



愛称:

ぽちたま



販売用資料
2021年7月28日作成

2021年6月末時点で3年シャープレシオが1位*
～ 堅調なパフォーマンスと効率的な運用の実践「ぽちたま」～

2021年6月末時点でシャープレシオ1位*

主に世界のペット関連株式に投資を行う、東京海上・グローバルペット関連株式ファンド(愛称:ぽちたま)は、2021年6月末時点で、主に株式に投資を行う国内籍追加型株式投資信託の中で3年シャープレシオが「為替ヘッジなし」922本中1位*となりました。また「為替ヘッジあり」も6位*となっています。

*2021年6月末時点で、QUICK投信分析システムにおけるQUICK属性「投資対象資産:株式(国内外の株式、除くETF/DC・ラップ・SMA専用)」、「投資対象地域:海外、内外」、かつ3年以上の運用実績を有する国内公募追加型株式投資信託922ファンドの3年シャープレシオ(年率)が対象。

<3年シャープレシオ 上位ファンド> (2021年6月末時点)

	ファンド名	3年(年率)		
		リターン	リスク	シャープレシオ
1位	東京海上・グローバルペット関連株式ファンド (為替ヘッジなし)愛称:ぽちたま	21.58	15.39	1.40
2位	ファンドA	23.16	17.17	1.35
3位	ファンドB	23.01	17.09	1.35
4位	ファンドC	24.23	18.24	1.33
5位	ファンドD	25.31	19.08	1.33
6位	東京海上・グローバルペット関連株式ファンド (為替ヘッジあり)愛称:ぽちたま	19.79	14.88	1.33

シャープレシオとは?

運用効率の高さを示す指標です。

リスクを取って運用した結果、安全資産(リスクがゼロと仮定した資産)から得られるリターンをどの程度上回ったのかを表します。

この数値が大きいほど取ったリスクに対してより大きなリターンを得られたことを意味し、運用効率が良いとされています。投資対象資産によって値の傾向が変わってくるため、一般的に同じ資産クラスのファンド同士の比較に活用します。

シャープレシオ=(ファンドの平均リターン-安全資産の利子率)÷リスク(標準偏差)

※ 安全資産の利子率には、日本では無担保コールレートなどを使用します。

(注)当社運用ファンドを除く、上記記載のファンドの数値はご参考情報として記載しています。出所:QUICK投信分析システム
リスクは標準偏差を使用。記載のリターン、リスク、シャープレシオは、QUICK社算出のデータを使用。
※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。



ファンドマネージャーからのメッセージ

平素より東京海上・グローバルペット関連株式ファンド(愛称:ぼちたま)をご愛顧いただき誠にありがとうございます。

ペット関連市場は身近で親しみやすい市場でありながら、成長性と安定性を兼ね備えた、非常にユニークで魅力的な市場であると考えています。

実際、その成長性に着目したペット関連企業の買収やペット関連企業が新規にIPOするケースも増えてきており、投資テーマとしての認知度が徐々に高まっていると感じています。

また、ペット関連市場の成長要因は一つ一つが力強く、トレンドが変わりにくい息の長い投資テーマであると考えています。

皆さまの長期の資産形成にお役立ていただければ幸いです。

■ ファンドの運用状況とペット関連市場について

- 当ファンドのファンド設定来のリターンは2021年6月末時点で「為替ヘッジなし」が+109.84%、「為替ヘッジあり」が+99.02%と高いパフォーマンスを上げることが出来ました。これは、ペット関連市場が、「ペットの家族化」「ペット関連消費の高級化」「新興国におけるペット需要拡大」という力強い成長要因に支えられ、長年にわたって、高い成長を遂げてきたことが一因だと考えています。
- また、ペット関連消費は、ペットフードや日用品、ペット医療など、生活必需品の要素が強く、リーマンショック、欧州債務危機、コロナショックなどの数々の景気低迷期においても、消費は大きく減少せず、消費の高い安定性も発揮してきました。ペット関連市場は、こうした消費の成長性と安定性のバランスの良さが強みであり、設定来の良好なパフォーマンスにつながっていると考えています。

■ 堅調なパフォーマンスを支えた運用面でのポイント

- ペット関連企業の中には、持続的に利益成長している企業もあれば、競争環境の変化に対応できず利益成長できていない企業もあります。そのため、運用にあたっては個別銘柄の選択が非常に重要と考えます。銘柄の選定については、「高い競争優位性を持っているか」「商品・サービスは差別化されているか」「成長戦略は明確か」などについて取材で確認し、長期的な視点で、持続的に高い利益成長を達成できると考える企業を中心に組み入れています。
- また、「ペットと人間の安心・共生社会の実現」がペット関連市場の持続的な成長に不可欠であると考えており、「ペットとペット愛好家の生活を豊かにするための明確なビジョンがあるか」も確認しています。明確なビジョンと高い競争優位性を持つ企業は、外部環境の変化への対応力も高く、収益の安定性と成長性を兼ね備えており、こうした企業に着目したことも、高いシャープレシオ(効率的なリターンの獲得)につながっていると考えています。

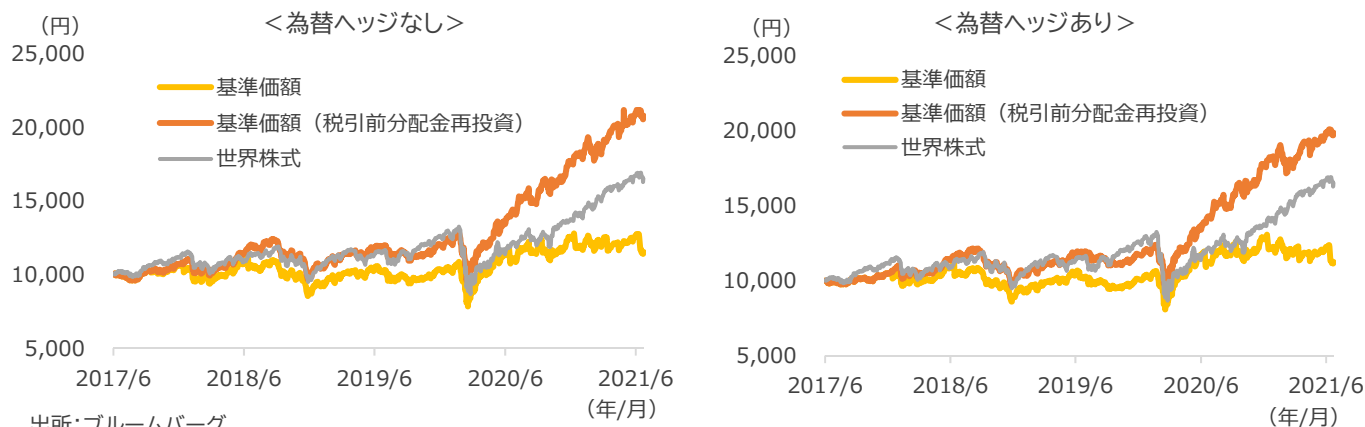
■ 今後のペット関連株式の見通しと運用方針

- ペット関連市場については、「ペットの家族化」「ペット関連消費の高級化」「新興国におけるペット需要拡大」に加え、「在宅勤務の拡大」などの新たな生活様式の変化を背景に引き続き成長していくと考えています。これらは新型コロナウイルスの感染拡大以前から長く続いてきたトレンドであり、アフターコロナの世界においてもペット関連市場の成長を支える要因になると考えています。
- その中でも、ペット用品のEコマース(インターネット取引)、ペット医療、ペット保険など、ペット関連市場の中でも高い成長が期待できると考える分野に注目しており、引き続き高い競争優位性を持ち、持続的に高い利益成長を達成できると考える銘柄を中心に組み入れていく方針です。



<ファンド設定来の基準価額および世界株式の推移>

2017年6月30日(設定日)～2021年7月21日、日次



世界株式:MSCIワールドインデックス(トータルリターンベース、円換算ベース)

※MSCIワールドインデックスは当ファンドのベンチマークではありません。※世界株式は2017年6月30日を10,000円として指数化。数値は、基準価額の評価時点に合わせるため、前営業日の指数値と当日の為替レートを用いて算出。※基準価額、基準価額(税引前分配金再投資)は1万口当たりで表示、信託報酬控除後のものです。※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

ファンドの関係法人

■ 販売会社

(当資料作成日時点)

商号(五十音順)	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
エース証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第6号	○			
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	
株式会社 SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
OKB証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第191号	○			
岡三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第53号	○	○		○
ぐんざん証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2938号	○			
株式会社 百五銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第10号	○		○	
百五証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第134号	○			
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第164号	○		○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

■ 委託会社 東京海上アセットマネジメント

商号等: 東京海上アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第361号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

🎥 動画公開中!

東京海上AM
YouTube
チャンネル



【当資料で使用している市場指数について】

■MSCIワールドインデックスの著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI社に帰属します。また、MSCI社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCI社の許諾なしにインデックスの一部または全部を複製、頒布、使用などすることは禁じられています。MSCI社は当ファンドとは関係なく、当ファンドから生じるいかなる責任も負いません。

【ご留意事項】

■当資料は、東京海上アセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。お申込みにあたっては必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社までご請求ください。■当資料の内容は作成日時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に掲載された図表等の内容は、将来の運用成果や市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある証券等(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。■投資信託は金融機関の預金とは異なり元本が保証されているものではありません。委託会社の運用指図によって信託財産に生じた利益および損失は、全て投資家に帰属します。■投資信託は、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。■投資信託は、預金および保険契約ではありません。また、預金保険や保険契約者保護機構の対象ではありません。■登録金融機関から購入した投資信託は投資者保護基金の補償対象ではありません。



ファンドの主なリスク

詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

投資する有価証券等の値動きにより基準価額は変動します。したがって、**投資元本は保証されているものではなく、投資元本を割り込むことがあります。**

運用による損益は、全て投資者に帰属します。

投資信託は**預貯金や保険と異なります。**

ファンドへの投資には主に以下のリスクが想定されます。

価格変動リスク	株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績・財務状況、市場の需給等を反映して変動します。株価は、短期的または長期的に大きく下落することがあります(発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります)。組入銘柄の株価が下落した場合には、基準価額が下落する要因となります。
特定のテーマへの集中投資リスク	ファンドは、ペット関連企業の株式に集中的に投資するため、幅広い業種・銘柄に分散投資を行うファンドと比較して、基準価額の変動が大きくなる可能性があります。
為替変動リスク	外貨建資産の円換算価値は、資産自体の価格変動の他、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。為替レートは、各国・地域の金利動向、政治・経済情勢、為替市場の需給その他の要因により大幅に変動することがあります。組入外貨建資産について、当該外貨の為替レートが円高方向にすすんだ場合には、基準価額が下落する要因となります。 「為替ヘッジあり」は原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。なお、新興国の一部の通貨については、先進国通貨による代替ヘッジを行うため、当該通貨間の為替変動の影響を受け、十分な為替ヘッジ効果が得られないことがあります。また、円金利がヘッジ対象通貨建ての金利より低い場合、これらの金利差相当分のヘッジコストがかかります。ただし、為替市場における需給の影響等によっては、金利差相当分以上のヘッジコストがかかる場合があります。
カントリーリスク	投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想以上に下落したり、投資方針に沿った運用が困難となることがあります。 また、投資対象国・地域には新興国が含まれています。新興国を取巻く社会的・経済的環境は不透明な場合もあり、金融危機、デフォルト(債務不履行)、重大な政策変更や様々な規制の新たな導入等による投資環境の変化が、先進国への投資に比べてより大きなリスク要因となることがあります。 さらに、新興国においては市場規模が小さく流動性が低い場合があり、そのため組入資産の価格変動が大きくなる場合があります。
流動性リスク	受益者から解約申込があった場合、組入資産を売却することで解約資金の手当てを行うことがあります。その際、組入資産の市場における流動性が低いときには直前の市場価格よりも大幅に安い価格で売却せざるを得ないことがあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。

❗ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

【収益分配金に関する留意事項】

投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全額が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。



※お申込みメモの内容は、作成日時点のものであり、変更になることがありますのでご注意ください。

お申込みメモ 詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

 購入時	購入単位	販売会社が定める単位。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
	購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
 換金時	換金単位	販売会社が定める単位。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
	換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
 申込みについて	換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して、5営業日目からお支払いします。
	申込締切時間	原則として午後3時までで、販売会社の手続きが完了したものを当日受付分とします。
	換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金には制限を設ける場合があります。
	購入・換金申込受付の中止および取消し	取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入(スイッチングによる申込を含みます。以下同じ。)・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消すことがあります。
	購入・換金申込不可日	以下に該当する日には、購入・換金のお申込みができません。 ・ニューヨーク証券取引所の休業日
 その他	信託期間	2027年10月12日まで(2017年6月30日設定)
	繰上償還	以下に該当する場合等には、繰上償還することがあります。 ・受益権の総口数が10億口を下回ることとなったとき ・ファンドを償還することが受益者のため有利であると認めるとき ・やむを得ない事情が発生したとき
	決算日	1月、4月、7月および10月の各12日(休業日の場合は翌営業日)
	収益分配	年4回の決算時に収益分配方針に基づき、収益分配を行います。 ※分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について、保証するものではありません。 ※販売会社との契約によっては再投資が可能です。
	課税関係	収益分配時の普通分配金、換金時および償還時の差益に対して課税されます。 課税上は株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は、税法上、少額投資非課税制度「NISA」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。 配当控除および益金不算入制度の適用はありません。 ※上記は、2021年4月末現在のものですので、税法が改正された場合等には、内容等が変更される場合があります。

● 購入時に直接ご負担いただく費用

購入時手数料：購入価額に**3.3%(税抜3%)**の率をかけた額を上限として販売会社が個別に定める額とします。
詳しくは販売会社にお問い合わせください。

● 換金時に直接ご負担いただく費用

信託財産留保額：ありません。

● 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

運用管理費用：ファンドの純資産総額に対し、**年率1.683%(税抜1.53%)**をかけた額(信託報酬)

その他の費用・手数料：以下の費用・手数料等がファンドから支払われます。

- 監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
ファンドの純資産総額に年率0.011%(税込)をかけた額(上限年99万円)を日々計上し、毎計算期末または信託終了の時にファンドから支払われます。
 - 組入る有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料
 - 資産を外国で保管する場合にかかる費用
 - 信託事務等にかかる諸費用
- ※監査にかかる費用を除く上記の費用・手数料等は、取引等により変動するため、事前に料率、上限額等を表示することができません。

上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、事前に表示することができません。